



Denyo

環境報告書2013
Environmental Report



目次

編集にあたって	P.2	生産活動における環境対応	P.12
マネジメント	P.3	地球温暖化防止	P.12
社長メッセージ	P.3	○CO2排出削減	
環境基本理念	P.4	資源循環型社会の形成	P.12
環境基本方針	P.4	○廃棄物の削減	
環境管理体制	P.5	化学物質の管理	P.13
○推進体制	P.5 - 6	○PRTR対象化学物質の管理	
○ISO14001認証取得	P.6	トピックス	P.14- 16
○環境マネジメントシステムの運用	P.6	建物への環境対策の状況	P.14
環境目標と実績	P.7	○本社屋上緑化	
環境負荷の全体像	P.8	○開発研修センター	
製品における環境配慮	P.9	海外工場における環境対策の状況	P.15
環境性能の高い製品開発	P.9 - 11	その他	P.15- 16
○エコベースエンジン発電機・溶接機	P.9	○古墳の保護	P.15
○エンジン溶接機DLW-200X2LS	P.10	○生物指標による水質監視	P.16
○エンジンコンプレッサーDIS-200VPS(B)	p.11		

情報開示体制

持続可能な社会の実現に向けた弊社の環境面における取り組みについてステークホルダーの皆様へ右記の媒体にて情報を開示しております。

報告対象組織

デンヨー株式会社

※但し、環境に関する主たる数値は福井工場の数値を掲載しております。

報告対象期間

2012年度(2012年4月～2013年3月)及び一部内容についてはその前後の期間。

発行時期

2013年12月

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

【年次環境報告書】 <http://www.denyo.co.jp>



お問い合わせ先

デンヨー株式会社

〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町2-8-5

ホームページ <http://www.denyo.co.jp>

経営企画室 TEL 03-6861-1111

FAX 03-6861-1185

免責事項

本環境報告書には、将来についての予想及び見通しが含まれている場合もございます。これらは実際の業績等と異なる場合がございます。

■ 社長メッセージ

この度は環境報告書をご覧いただきましてありがとうございます。また、日ごろから弊社にご関心を寄せて頂き御礼申し上げます。本年より環境報告書を作成し、皆様に公開する運びとなりました。最後まで目を通していただければ幸いです。

さて、近年の世界的な人口増加をうけまして、生産活動が活発化し世界経済の発展に明るい兆しをもたらしております。しかし、その一方で地球温暖化に代表されるように、生産活動が環境に及ぼす影響が多大となり、世界規模で地球環境が問題視されるようになってまいりました。これらの問題について弊社におきましても、問題解決への取り組みは社会的使命と認識し、開発面や生産面等から常に環境に関心を持ち、全社一丸となって問題解決に取り組んでおります。

今後も環境基本理念のもと、環境基本方針を実行し持続可能な社会の実現に貢献して参りますとともに、環境に配慮することにより、弊社製品及び会社の価値向上に努めて参ります。

2013年12月



デンヨー株式会社

代表取締役社長

古賀 繁

■ 環境基本理念

デンヨーは、パワーソース製品の提供を通じて、社会インフラの拡充等にグローバルに貢献すると共に、企業の社会的責任として環境保全を深く認識し、環境と調和した事業活動を積極的に推進します。

■ 環境基本方針

1. 事業活動における、省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減、臭気・騒音の低減等、健全な環境の維持向上を図ると共に、環境に配慮した製品の提供を推進し、汚染の予防に努めます。
2. 環境に関連する法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を順守すると共に、関連する社会的要求を尊重します。
3. 環境保全に取り組むためのマネジメントシステムを構築し、その継続的な改善を図ると共に、環境目的及び目標を設定し、そのレビューを通じて環境パフォーマンスの向上に努めます。

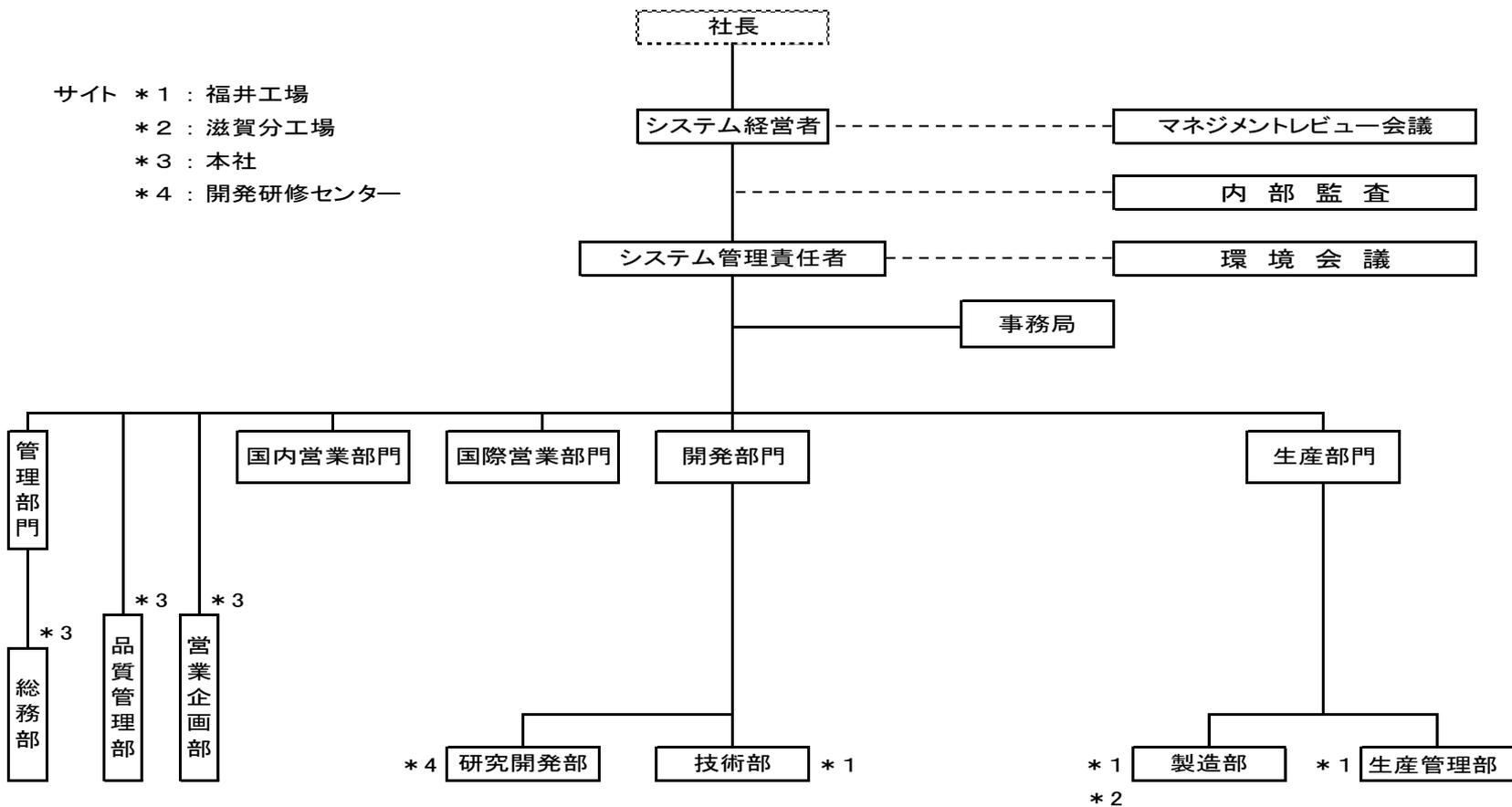


4. 環境方針は文書化し、従業員及び当社のために働く人全員に周知すると共に、広く一般に開示します。

環境管理体制

推進体制

品質・環境マネジメントシステムの組織図



● ISO14001認証取得

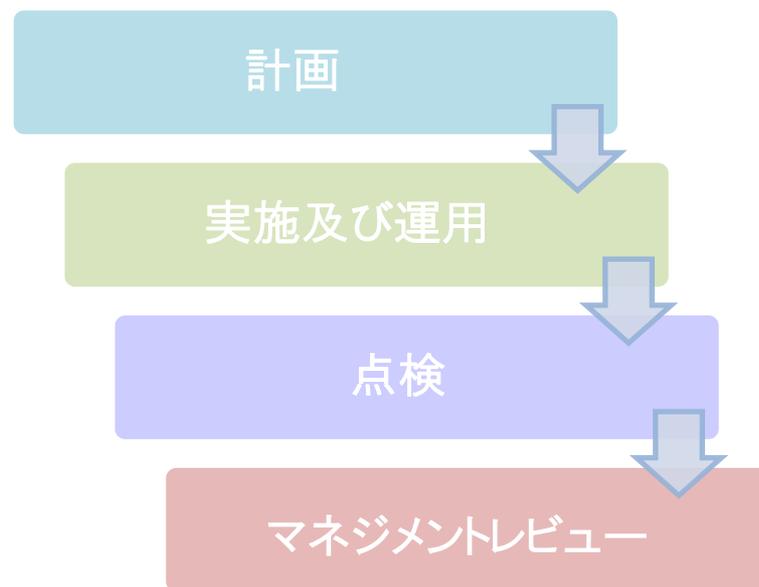
2006年10月19日付けで、環境マネジメントシステム (ISO14001:2004) の認証を取得しました。

省資源・省エネルギーの推進によるCO2排出量抑制、さらには事業を通じて総合的な環境負荷の低減に向けた事業活動を行って参ります。

□ 審査機関	日本検査キューエイ株式会社
□ 適用規格	ISO 14001:2004/JIS Q 14001:2004
□ 登録番号	E1652
□ 登録範囲	エンジン発電機、エンジン溶接機、 エンジンコンプレッサー、モーターコンプレッサーの 設計・開発、製造及び付帯サービスに係る事業活動
□ 登録組織	デンヨー株式会社
□ 登録範囲に含まれる その他の事業所	福井工場、滋賀工場、埼玉開発部門研究開発部
□ 登録日	2006年10月19日(登録更新日:2013年11月7日)

● 環境マネジメントシステムの運用

環境マネジメントシステムの運用状況をISO審査登録機関の審査、及び自社による内部監査により定期的に確認しております。また、定期的な見直しを行う事により環境マネジメントシステム運用の継続的改善に努めております。



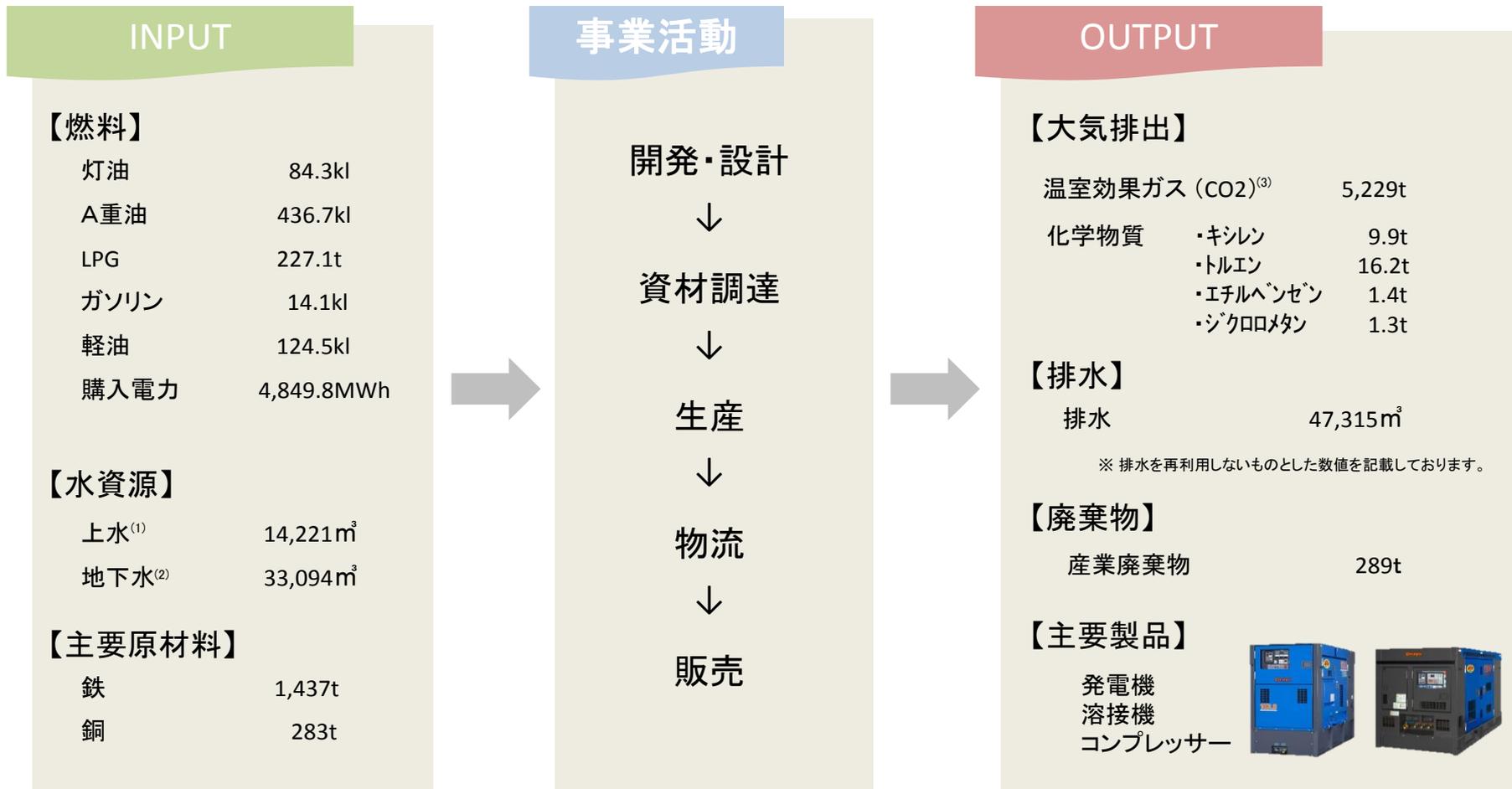
環境目標と実績

環境経営を実現する為、年度毎に目標を定めその評価を随時行っております。
2012年度の総評といたしましては全ての項目に対し、目標以上の達成となりました。

項目	2012年度の目標	2012年度の実績	2013年度の目標
環境性能の高い製品の開発	～環境に配慮した製品開発～ 「環境配慮型製品」を開発する。	エコベース、LPガス非常用発電機、排ガス規制対応機等の開発を行った。	「環境配慮型製品」を開発する。
資源循環型社会の形成	～廃棄物の削減～ 2012年度末までに「生産高当たりの産業廃棄物の量」を2011年度比2%以上削減する。	・前年度比排出量14.6%減 ・前年度比生産高当たり10.9%減	2013年度末までに「生産高当たりの産業廃棄物の量」を2011年度比10%以上削減する。
	～省エネルギー～ 2012年度末までに「生産高当たりの原油換算エネルギー使用量」を2011年度比1%以上削減する。	・前年度比使用量8.8%減 ・前年度比生産高当たり4.8%減	2013年度末までに「生産高当たりの原油換算エネルギー使用量」を2011年度比5%以上削減する。
社会貢献活動	～グリーンクリーン作戦～ 「事業所周辺地域に隣接するグリーンベルトなどの整備、清掃活動」を1箇所以上行う。	・福井工場では、工場周囲の清掃活動を実施し、北門の山側に季節の花を植栽。 ・滋賀工場では、工場周囲の清掃活動を実施し、事務所にプランターを増設。 ・研究開発部では、開発研修センター周辺及び屋外試験場周辺の清掃活動を実施。 ・本社総務部では本社ビル周辺の清掃活動を実施。	「事業所周辺地域に隣接するグリーンベルトなどの整備、清掃活動」を1箇所以上行う。

■ 環境負荷の全体像

デンヨーでは、事業活動の物質投入量を把握し、環境負荷低減に努めております。



注 (1) 集計対象範囲は本社、開発研修センター、福井工場となります。
 (2) 集計対象範囲は福井工場となります。

(3) 集計対象範囲は、デンヨー株式会社全社となります。
 ※ なお、(1)~(3)以外の集計対象範囲は福井工場、滋賀分工場となります。

■ 環境性能の高い製品開発

● エコベースエンジン発電機・溶接機

エコベースエンジン発電機は、不測の事故等によりエンジンオイルなどが漏れた場合でも、本体下部のエコベースに溜めることにより、外部への流出を極力抑えることができますので、周辺環境汚染のリスク低減が図れます。



DCA-220LSIE

エコベースエンジン発電機には、大容量燃料タンクをエコベース内に設置した、ビッグタンク搭載機もラインアップしています。常時監視の必要が無く、一度の給油で

長時間の連続運転が可能です。

また、エンジン溶接機においてもエコベース機の拡充を図っておりますので、コンビナートや発電所などのプラント工事から一般工事まで、幅広い工事に対応できます。

今後ともお客様のご要望にお応えし、環境に配慮した製品の開発を進めてまいります。



DLW-300LSE

● エンジン溶接機DLW-200X2LS

DLW-200X2LSは、溶接作業や交流電源を使用した作業を休止すると、設定された時間経過後に自動でエンジンを停止し、作業操作を再開すると自動でエンジンを再始動する「自動アイドリングストップ」機能を標準装備した2人用エンジン溶接機です。作業現場では、継続的に溶接し続けることは稀なため、自動アイドリングストップ機能により、燃料消費・CO2排出量を大幅に削減することができます。エンジン溶接機の「自動アイドリングストップ機能」は当社が業界で初めて開発した技術で(特許取得済)、地球温暖化の原因であるCO2排出量の削減に大きな効果があると高い評価を得ています。

また、無段階eモード機能により、溶接作業を開始するとエンジン回転を可変速制御し、最適なエンジン回転数で運転します。この機能により、運転中でも低燃費・低騒音を実現します。

DLW-200X2LSは、自動アイドリングストップ機能と無段階eモード機能により、燃料消費を抑え・温室効果ガスの削減と騒音の低減を行い、環境負荷の抑制に貢献いたします。



DLW-200X2LS

- エンジンコンプレッサーDIS-200VPS(B)

DIS-200VPS(B)は、デジタルパネルに設定圧力を入力することにより、吐出圧力を自由に設定できる業界初のバリアブルプレッシャーコンプレッサーです。バリアブルプレッシャーシステムとは、デジタルパネルに必要とする吐出圧力(0.6 ~ 1.27MPa)を設定することにより、自動的に使用空気量に合わせた容量制御、エンジン回転数制御を行うもので、電子制御エンジンの特性とコンプレッサーの効率を最大限に利用できるシステムです(特許取得済)。

これにより、高圧が必要な作業現場から低圧大容量の用途まで、1台で幅広くご使用いただけるようになり、従来のように作業現場、用途に合わせて複数台のコンプレッサーを用意する必要がなくなり、効率的です。

また、大型高圧コンプレッサーにおいて業界初の超低騒音型建設機械に指定されており、環境負荷低減の面からも優れております。



DIS-200VPS

地球温暖化防止

CO2排出削減

デンヨーでは、事業特性にともない排出されるCO2の削減に取り組み地球温暖化防止に努めております。

残念ながら2012年度のCO2排出量は5229tで、前年度比7.8%増となりました。これは使用電力についてCO2排出量係数の増加の影響によるものです。

2013年度もCO2削減に向けた取り組みを継続して実施してまいります。

CO2総排出量及び単体売上高当たりのCO2排出量



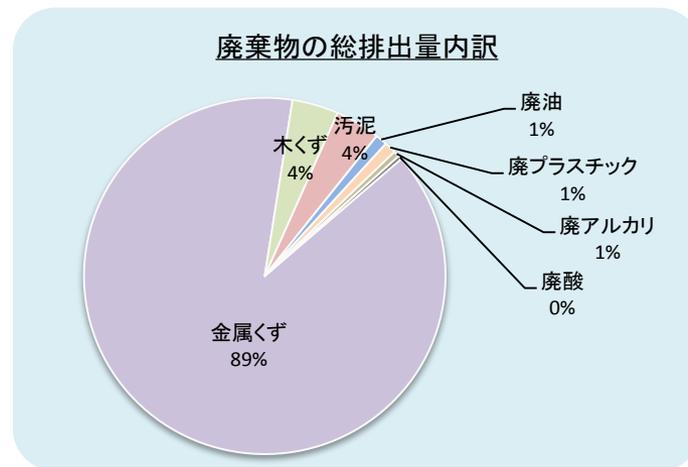
資源循環型社会の形成

廃棄物の削減

廃棄物については、関係諸法令に従い適切に管理及び処理を行っております。

2012年度の産業廃棄物の排出量は、約289tで前年度比生産高当たり10.9%減となり目標の前年度比2%削減を達成しております。

また、2016年度末までに「生産高当たりの産業廃棄物の量」を2011年度比15%以上の削減目標を設け廃棄物の削減に取り組んでおります。



※集計対象範囲は福井工場及び滋賀分工場となります。

■ 化学物質の管理

● PRTR対象化学物質の管理

PRTR法に基づき、PRTR対象化学物質の環境への排出量、廃棄物としての移動量を把握し、集計・公表しています。

物質名	取扱量	大気への排出量	再資源化 物量	処分量	消費量
キシレン	10.4	9.9	0.4	0.4	0.0
トルエン	19.1	16.2	2.6	2.9	0.0
エチルベンゼン	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0
ジクロロメタン	5.4	1.3	3.9	4.1	0.0
テトラヒドロメチル無水フタル酸	14.6	0.4	0.0	8.9	5.3
エチレングリコール	57.6	0.0	0.0	0.0	57.6

(単位:トン)

※PRTR(Pollutant Release and Transfer Register :化学物質排出移動量届出制度)とは、有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計・公表する仕組みです。

■ 建物への環境対策の状況

● 本社屋上緑化

当社では、環境と調和した事業活動を推進するという環境基本理念に基づき、2012年度から本社ビルの屋上緑化をしております。屋上緑化をすることで、建物の温度上昇を抑制することができます。それによりヒートアイランド現象の緩和や、冷房効率を向上させる効果があります。

本社屋上緑化面積は、植栽プランターと合わせて屋上面積の38%(40.88㎡)を占め、土壌は夏場の乾燥時にもよく耐える軽量人工土壌(アクアソイル)を使用しております。また、四季を感じ取れるよう花が咲くものを中心に、約20種類もの品種が賑わいを見せるので、福利厚生の一環にもなっております。



● 開発研修センター

2013年2月、埼玉県坂戸市に『開発研修センター』を竣工いたしました。

開発研修センターの建物は、省エネの一環として建物を冷却するため雨水を利用したミスト噴霧の実施やソーラーパネルの設置など最新の環境対応技術を数多く採用し、敷地内の緑化など室外環境にも配慮した結果、CASBEE[※]における最上級ランク(Sクラス)に達しました。

さらに開発研修センターでは、屋上緑化も実施しております。

※CASBEE (=建築環境総合性能評価システム)とは、環境への配慮、無駄の無いランニングコスト、居住環境の快適性など建物の品質を客観的及び総合的に評価するシステムです。

評価は、「Sランク(素晴らしい)」、「Aランク(大変良い)」、「B+ランク(良い)」、「B-ランク(やや劣る)」、「Cランク(劣る)」の5段階の格付けからなります。



■ 海外工場における環境対策の状況

アメリカにあるグループ会社Denyo Manufacturing Corporation(デンヨー マニュファクチュアリング コーポレーション)は、2013年度MVP2 Awardを受賞いたしました。本年9月には授賞式が行われ記念の表彰楯をいただきました。MVP2 Awardは、ワシントンDCに本部を置くNPPR(National Pollution Prevention Roundtable)という全米最大の環境保全団体により、技術面や定量実績など5つの項目を審査基準として環境保全に貢献した企業へ贈られます。

今回、廃棄物削減・環境資源の節減・リサイクル活動などが評価され、「Projects/Programs」部門で受賞いたしました。

Denyo Manufacturing Corporation は、昨年ケンタッキー州からも“環境や地域に貢献した企業”として表彰されており、グループきっての環境貢献企業として活躍しております。



■ その他

● 古墳の保護

福井工場では工場敷地内で発見された古墳の保護を自主的に行っております。

工場造成が計画された1973年に、6世紀頃(古墳時代後期)の円墳3基が発見され、きよしの古墳群と名付けられました。現在は1号墳のみ保存されております。被葬者の詳細は不明ですが古墳から出土した武器類や馬具などから中位クラスの豪族の墓だと考えられています。古墳から出土した装飾品の何点かは古墳横の祠に納め大切に保管しております。

環境保護だけでなく地域の歴史的風土保存にも貢献しております。



● 生物指標による水質監視

福井工場では排水処理した水を河川に放流する前に敷地内に設けた調整池に一度貯める方式をとっております。調整池では鯉を飼育し、生物が棲息可能な状況が確保出来ているかどうかを確認することで、処理した排水の水質監視を行う生物指標の導入を行っております。

万が一、1次排水にて汚染水が流出してしまった場合にも調整池を経由することにより、直接汚染水を河川に放流するリスクを最小限に抑えられます。



●技術で明日を築く ——— デンヨー®
Denyo®

 **デンヨー株式会社**

本 社：〒103-8566 東京都中央区日本橋堀留町2-8-5
TEL:03(6861)1111 FAX:03(6861)1181
ホームページ： <http://www.denyo.co.jp/>